

混雑空港運航許可申請事案補足 説明資料

【福岡空港】

令和元年12月10日

航空局航空ネットワーク部航空事業課

福岡空港の「誘導路二重化」及び「滑走路増設事業」

【誘導路二重化関連】
H24(2012)年度 事業着手
2020年1月末 完成予定

○滑走路処理能力
【現状】 16.4万回/年 (35回/時)
【誘導路二重化後】 17.6万回/年 (38回/時[※])
 ※2020年3月末～

【滑走路増設関連】
H27(2015)年度 事業着手
2024年度 完成予定

○滑走路処理能力
【滑走路増設後】
 18.8万回/年 (40回/時) ~

21.1万回/年 (45回/時) [※]
 ※進入方式の高度化が必要であり、今後の需要動向を踏まえ、地元の理解を得た上で増枠を検討。



福岡空港の運営委託について

- 福岡空港は、平成31年4月より福岡国際空港(株)による運営が開始。
- 今後、「比類なき東・東南アジアの航空ネットワークを有する、東アジアトップクラスの国際空港」を目指し、エアライン誘致、エアポートシティの実現、地域共生など民間の創意工夫を活かした運営が進められる予定。

福岡空港の将来イメージ

〔 出典：福岡エアポートHDグループ提案概要 〕

- 東・東南アジアの就航国数は日本一 14カ国・地域、51路線に就航
- 旅客数3,500万人(国際:1,600万人、国内:1,900万人)、100路線(国際:67路線、国内:33路線)

○将来の国際線地区イメージ



○将来の国内線地区イメージ



航空ネットワークの将来像	現状	2023年度	2048年度
東・東南アジア	8カ国 15路線	11カ国 22路線	14カ国 51路線
国際路線 (東・東南アジアを含む)	10カ国 18路線	13カ国 26路線	25カ国 67路線
国内路線	23都市 26路線	23都市 26路線	30都市 33路線

地域との共生に向けた取組

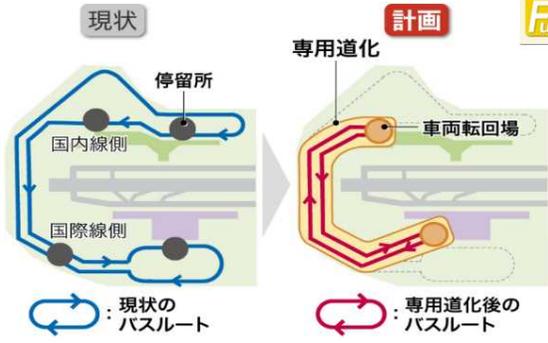
- 地域共生事業の専門部署の設置
- 周辺地域との対話・交流の機会に積極的に参加
- 丁寧な情報発信

「情報ひろば」
空港機能拡充の取組み、航空機騒音・飛行経路状況、福岡空港の歴史を紹介

※イメージ(羽田空港機能強化情報発信拠点)

利用者利便向上への取組

- 空港サービスの質向上に向けた3F、Free「楽に」、Fast & Seamless「早く」、Fun「楽しく」を推進し、将来の変化にFlexible「しなやかに」対応



- 国際線地区にバスターミナルを新設し、九州全域及び広島以西とのダイレクトアクセスを強化(14路線⇒26路線)
- 博多駅との結節を強化
(往復42便/日 → 最大往復168便/日)



Free	施設・設備の充足率	100%
Free	内際旅客ビル施設間移動時間	5分以内
Fast	出発手続き時間	10分以内
Fast	観光地等へのダイレクトバス	19路線
Fun	エアポートシティの利益	現状の2倍

- 内際連絡バスの専用道化等により旅客ビル施設間の移動時間を5分以内に短縮

利用者利便向上への取組内容



「地下鉄アクセスホール」改修 「バスラウンジ」供用予定2020年1月

航空会社の概要(1)

会社名	ANAホールディングス(株) (スターアライアンス) 	日本航空(株) (ワンワールド) 
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> ・日本マスタートラスト信託銀行(信託口) 4.2% ・日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) 3.0% ・名古屋鉄道 2.3% 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本マスタートラスト信託銀行(信託口) 5.7% ・日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) 4.5% ・京セラ 2.1% 他
保有機材	大型機 50機 中型機 108機 小型機 83機 リージョナル機 24機 合計265機 (H31.4.1時点)	大型機 40機 中型機 77機 小型機 65機 リージョナル機 56機 合計238機 (H31.4.1時点)
許可等 取得日	(国内) 昭和28年10月15日 (国際) 昭和61年 1月31日	(国内) 昭和27年10月20日 (国際) 昭和28年 8月14日
運航路線	(国内) 120路線 (国際) 89路線 ※貨物専用路線を含む	(国内) 116路線 (国際) 56路線
グループ 企業	エアージャパン(AJX) ANAウイングス(AKX) ピーチ・アビエーション(APJ)(※) バニラ・エア(VNL)(※)	ジェイ・エア(JAR) 日本エアコミューター(JAC) 日本トランスオーシャン航空(JTA) 琉球エアコミューター(RAC) 北海道エアシステム(HAC) ジェットスター・ジャパン(JJP)(※) ZIPAIR Tokyo(TZP)(※)

(※)印の航空会社はLCC(低コスト航空会社)で、上記の保有機材、運航路線には含まれない

航空会社の概要(2)

会社名	日本トランスオーシャン航空(株)	スカイマーク(株)	(株)スターフライヤー
会社名			
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> ・日本航空 72.8% ・沖縄県 12.9% 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・インテグラル 等 50.1% ・UDSエアライン投資事業有限責任組合 33.4% ・ANAホールディングス 16.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ANAホールディングス 17.9% ・TOTO 4.8% ・高橋 慧 4.0% 他
使用機材	<p>ボーイング737-800型機(165席) 12機</p> <p>ボーイング767-300型機(237席、 261席) 13機(13機)</p>	<p>ボーイング737型機(177席) 27機</p>	<p>エアバスA320型機(150席) 12機</p>
許可等 取得日	昭和48年7月17日	平成10年7月28日	平成18年1月12日
運航路線	<p>羽田＝宮古、石垣 関西＝那覇、石垣 福岡＝那覇 那覇＝小松、中部、岡山、久米島、 宮古、石垣</p> <p>【国内 計11路線】</p>	<p>羽田＝新千歳、神戸、福岡、 鹿児島、那覇 新千歳＝茨城、中部、神戸 神戸＝仙台、茨城、長崎、 鹿児島 福岡＝新千歳、茨城、那覇 鹿児島＝中部、奄美 那覇＝中部、神戸、茨城</p> <p>【国内 計20路線】</p>	<p>羽田＝北九州、関西、福岡、山口宇部 福岡＝中部 那覇＝北九州</p> <p>【国内 計6路線】</p> <p>中部＝桃園 北九州＝桃園</p> <p>【国際 計2路線】</p>

航空会社の概要(3)

会社名	アイベックスエアラインズ(株) 	(株)フジドリームエアラインズ 
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> ・日本デジタル研究所 47.9% ・前澤 和夫 18.8% ・アールビバン 9.5% ・サザンインターナショナル 7.1% <li style="text-align: right;">他 	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴与 100.0%
使用機材	ボンバルディアCL-600-2C10型機(70席) 10機	エンブラエル式ERJ170-100STD型機(76席) 3機 エンブラエル式ERJ170-200STD型機(84席) 11機
許可等 取得日	平成12年6月20日	平成21年2月27日
運航路線	成田＝仙台、小松、広島 大阪＝仙台、福島、新潟、福岡、大分 福岡＝仙台、新潟、小松、中部 新千歳＝仙台、松山 仙台＝小松、中部、広島 中部＝松山、大分 <p style="text-align: center;">【国内 計19路線】</p>	福岡＝新潟、静岡、小牧、松本 新千歳＝山形、松本 仙台＝出雲 静岡＝出雲、北九州、鹿児島 小牧＝青森、花巻、山形、新潟、出雲、高知、熊本 神戸＝松本、出雲、高知 <p style="text-align: center;">【国内 計20路線】</p>

航空会社の概要(4)

	Peach Aviation(株)	ジェットスター・ジャパン(株)	エアアジア・ジャパン(株)
会社名			
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> ・ANAホールディングス 77.9% ・産業革新機構 15.1% ・First Eastern Aviation Holding Limited 7.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本航空 50.0% ・カンタスグループ 33.3% ・東京センチュリー 16.7% ※比率は議決権ベース	<ul style="list-style-type: none"> ・AirAsia Investment 33.0% ・楽天 18.0% 他 ※比率は議決権ベース
使用機材	エアバスA320(180席) 28機	エアバスA320(180席) 25機	エアバスA320(180席) 3機
許可等 取得日	平成23年7月7日	平成24年4月6日	平成27年10月6日
運航路線	関西＝新千歳、釧路、仙台、新潟、成田、 松山、福岡、長崎、宮崎、鹿児島、 那覇、新石垣 成田＝新千歳、福岡、奄美、那覇 福岡＝新千歳、那覇 仙台＝新千歳 <p style="text-align: right;">【国内計19路線】</p> 新千歳＝桃園 仙台＝桃園 成田＝桃園、高雄 羽田＝仁川、桃園、浦東 関西＝仁川、釜山、桃園、高雄、香港、浦東 福岡＝桃園 那覇＝仁川、桃園、高雄、香港、バンコク <p style="text-align: right;">【国際計19路線】</p>	成田＝新千歳、庄内、関西、高松、松 山、高知、福岡、長崎、 大分、熊本、宮崎、鹿児島、那 覇、下地島 関西＝新千歳、高知、福岡、熊本、那 覇、下地島 中部＝新千歳、福岡、鹿児島、那覇 <p style="text-align: right;">【国内計24路線】</p> 成田＝香港、桃園、マニラ、浦東 関西＝香港、マニラ 中部＝マニラ <p style="text-align: right;">【国際計7路線】</p>	中部＝新千歳、仙台 <p style="text-align: right;">【国内計2路線】</p> 中部＝桃園 <p style="text-align: right;">【国際計1路線】</p>

航空会社の概要(5)

会社名	日本エアコミューター(株)	天草エアライン(株)	オリエンタルエアブリッジ(株)
会社名	日本エアコミューター(株) 	天草エアライン(株) 	オリエンタルエアブリッジ(株) 
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> ・JAL 60.0% ・奄美群島12市町村 40.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県 53.3% ・天草市 22.9% ・上天草市 2.7% ・九州電力 4.0% ・肥後銀行 4.0% 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎空港ビルディング(株) 40.9% ・長崎県 8.4% ・ANAホールディングス 3.6% ・大村市他7市町 0.2%
使用機材	サープ340B型機(36席) 3機 ATR72-212A型機(70席) 2機 ATR42-500型機(48席) 6機	ATR42-500型機(48席) 1機	DHC-8-Q200型機(39席) 2機 DHC-8-Q400型機(74席) 2機
許可等 取得日	昭和58年11月2日	平成12年1月21日	昭和36年12月18日
運航路線	大阪＝但馬、屋久島 福岡＝出雲、鹿児島、屋久島 出雲＝隠岐 鹿児島＝松山、種子島、屋久島、 奄美、喜界島、徳之島、 沖永良部、与論 奄美＝喜界島、徳之島、与論 徳之島＝沖永良部 那覇＝沖永良部 【国内 計19路線】	天草＝熊本、福岡 熊本＝大阪 【国内 計3路線】	福岡＝小松、福江、宮崎 長崎＝壱岐、福江、対馬 【国内 計6路線】

福岡空港の発着調整基準

1. 発着回数は次の回数を限度とする。

1時間の発着回数	35回
うち到着回数	20回

※定期便の調整に当たっては、調整ダイヤの前期ダイヤで1時間当たりの発着回数が上記基準を超えている時間帯については、当分の間、前期ダイヤの発着回数を上限とする。

- ✓ 滑走路増設に係る夜間工事時間の確保のため21時台後半への新たなダイヤ設定及びダイヤの後ろ倒しを抑制(2018S～)

2. 航空機の遅延による混雑を吸収するために、発着回数を抑制する時間帯「ファイヤーブレイクゾーン」を設定する。

- ・ファイヤーブレイクゾーンは、1日2回、それぞれ1時間ずつ設けることとし、各ファイヤーブレイクゾーンにおける発着回数の上限は28回とする。

※2019年夏期スケジュール期間(R1.10.27～R2.3.28)は、金曜日16:00～16:59及び21:00～21:59に設定

航空保安業務提供時間(運用時間)及び利用時間

5. (1)②関係

【福岡空港関係】

空港	運用時間	利用時間	滑走路
成田国際空港	24時間	6:00～24:00	A:4,000m B':2,500m
東京国際空港	24時間	24時間	A:3,000m B:2,500m C:3,360m D:2,500m
新千歳空港	24時間	24時間	A:3,000m B:3,000m
大阪国際空港	14時間	7:00～21:00	A:1,828m B:3,000m
関西国際空港	24時間	24時間	A:3,500m B:4,000m
中部国際空港	24時間	24時間	3,500m
福岡空港	24時間	7:00～22:00	2,800m
那覇空港	24時間	24時間	3,000m
花巻空港	11.5時間	8:00～19:30	2,500m
仙台空港	14時間	7:30～21:30	A:1,200m B:3,000m
新潟空港	14時間	7:30～21:30	A:1,314m B:2,500m
百里空港	13.5時間	7:30～21:00	A:2,700m B:2,700m
松本空港	8.5時間	8:30～17:00	2,000m
静岡空港	14.5時間	7:30～22:00	2,500m
小松空港	14時間	7:30～21:30	2,700m
小牧空港	15時間	7:00～22:00	2,740m
出雲空港	13時間	7:30～20:30	2,000m
徳島空港	14.5時間	7:00～21:30	2,500m
松山空港	15時間	7:00～22:00	2,500m
高知空港	14時間	7:00～21:00	2,500m
福江空港	11.5時間	8:00～19:30	2,000m
対馬空港	13時間	7:30～20:30	1,900m
天草空港	12.8時間	7:40～20:30	1,000m
宮崎空港	14時間	7:30～21:30	2,500m
鹿児島空港	15時間	7:00～22:00	3,000m
屋久島空港	10時間	8:30～18:30	1,500m
奄美空港	11.5時間	8:00～19:30	2,000m
新石垣空港	13時間	8:00～21:00	2,000m

飛行前点検整備等に係る地上滞在所要時間

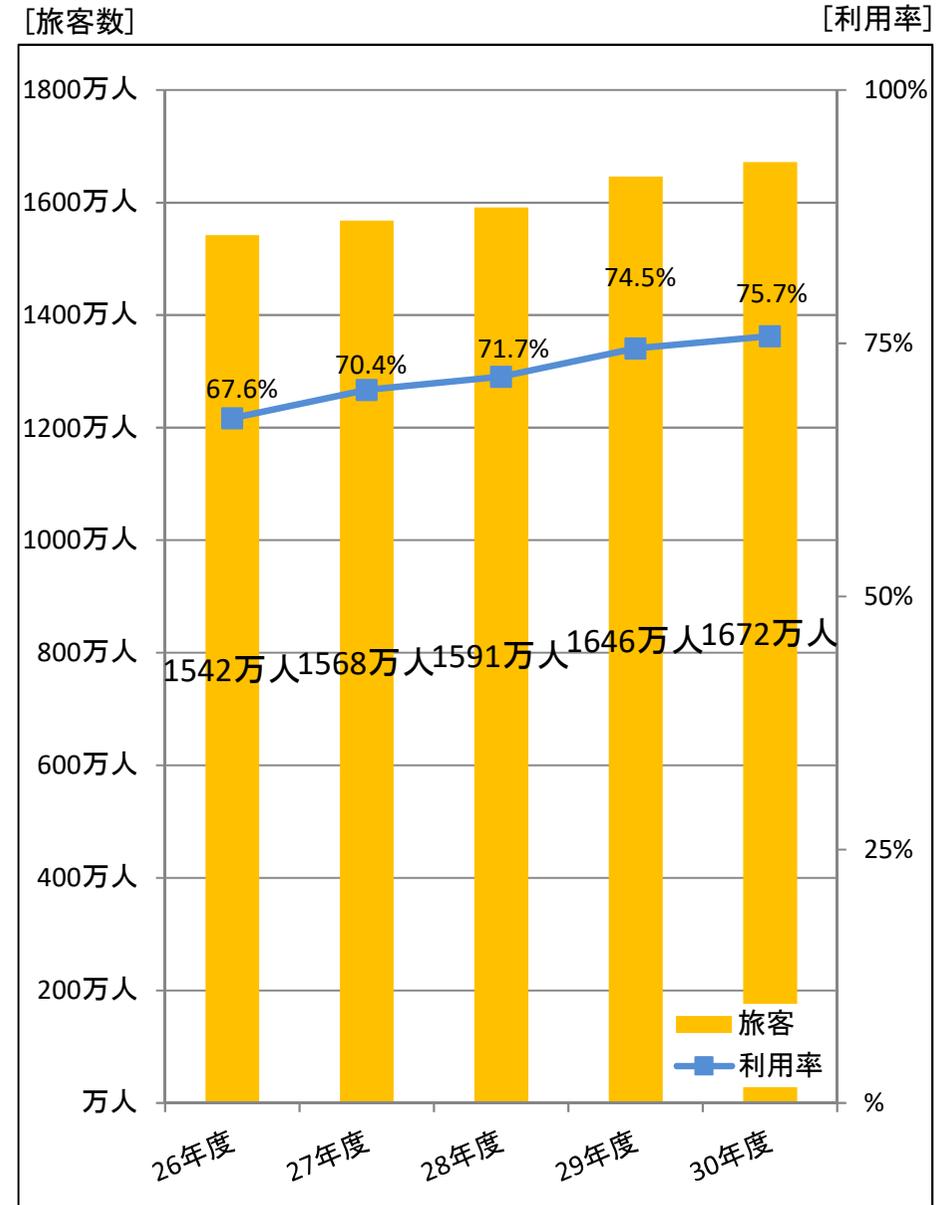
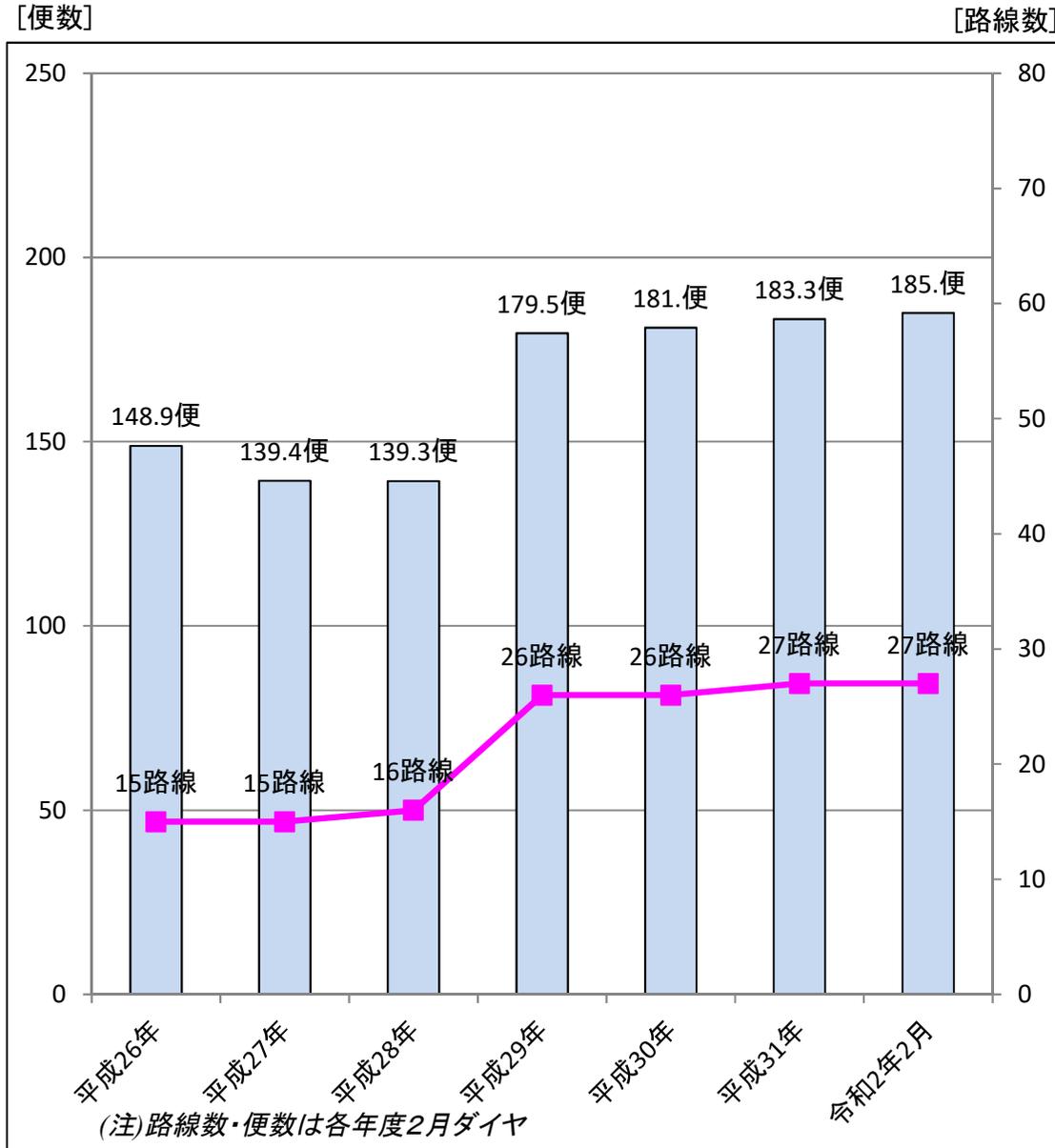
区分	型式	所要時間
大型JET機	B777	45～55分
	A350	50～55分
中型JET機	B787	45分
	B767	35～45分
小型JET機	B737	35～45分
	A320	30～40分
	ERJ	25分
	CR7	30分
プロペラ機	DHC8	25～35分
	ATR	30～35分

※飛行前点検整備(T check): 毎飛行ごとの出発前に実施され、航空機全体の外観点検、燃料補給、出発態勢の確認を行う。

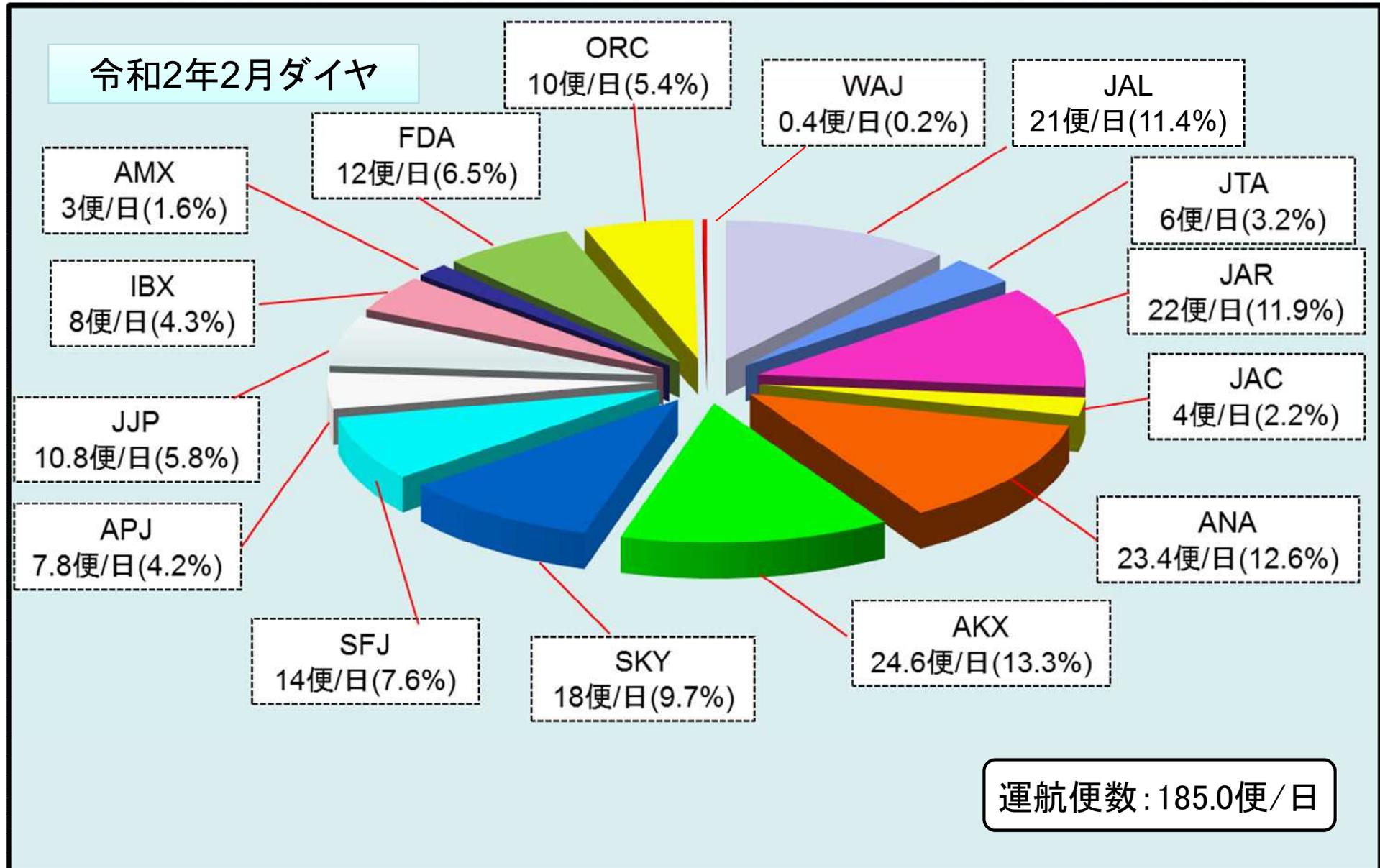
※航空会社により、所要時間の設定は異なっている。(同じ型式でも空港によって変えているケースもある)

福岡空港(国内線)路線数・便数・旅客数・利用率の推移

【福岡空港】



福岡空港(国内線)の航空会社別運航回数及びシェア



エアアジア・ジャパン 福岡空港 新規参入関係②

2. 申請路線の運航状況

～2020年2月21日	2020年2月22日～
<p>ANAウイングス (AKX)</p> <p>2. 2往復/日</p> <p style="padding-left: 40px;">(ボーイング式737-700型、 ボーイング式737-800型)</p> <p>スターフライヤー (SFJ)</p> <p>6往復/日</p> <p style="padding-left: 40px;">(エアバス式A320-214型)</p> <p>ジェットスター・ジャパン (JJP)</p> <p>3. 1往復/日</p> <p style="padding-left: 40px;">(エアバス式A320-232型)</p> <p>アイベックスエアラインズ (IBX)</p> <p>1往復/日</p> <p style="padding-left: 40px;">(ボンバルディア式CL-600-2C10型)</p>	<p>ANAウイングス (AKX)</p> <p>2. 2往復/日</p> <p style="padding-left: 40px;">(ボーイング式737-700型、 ボーイング式737-800型)</p> <p>スターフライヤー (SFJ)</p> <p>6往復/日</p> <p style="padding-left: 40px;">(エアバス式A320-214型)</p> <p>ジェットスター・ジャパン (JJP)</p> <p>3. 1往復/日</p> <p style="padding-left: 40px;">(エアバス式A320-232型)</p> <p>アイベックスエアラインズ (IBX)</p> <p>1往復/日</p> <p style="padding-left: 40px;">(ボンバルディア式CL-600-2C10型)</p> <p style="color: red;">エアアジア・ジャパン (WAJ)</p> <p style="color: red;">0. 4往復/日</p> <p style="text-align: right; color: red;">(エアバス式A320-216)</p>

エアアジア・ジャパン 福岡空港 新規参入関係③

3. 使用機材の諸元 (エアバス式A320-216型)

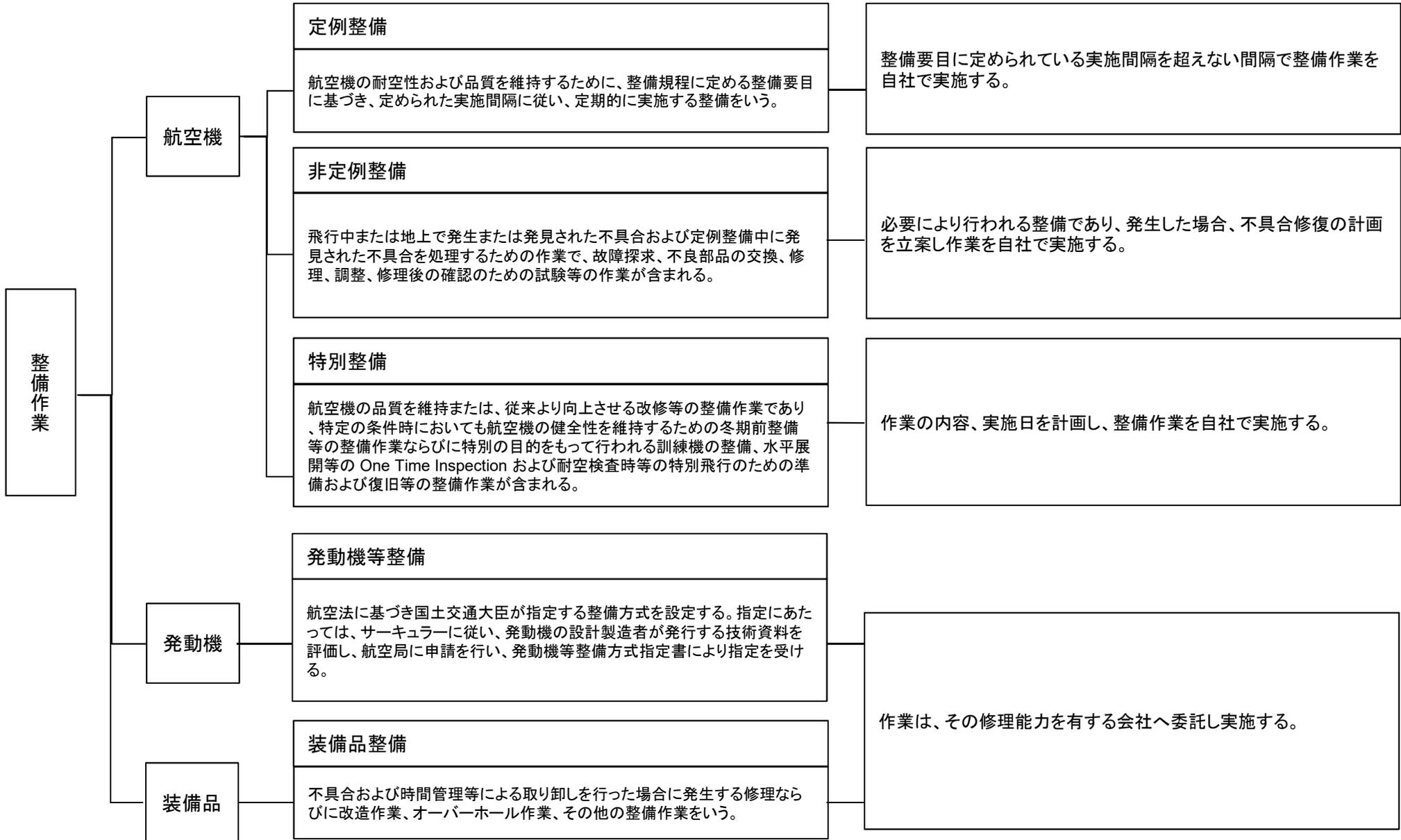


【諸元】

全幅	全長	全高	最大離陸重量	航続距離	巡航速度	座席数
34.1m	37.6m	11.8m	73.5t	6,100km	840km	180/186席

エアアジア・ジャパン 福岡空港 新規参入関係④

4. 整備作業の実施体制



福岡空港(国際線)便数・旅客数・貨物取扱量の推移

